

スタッフのアイデアを生かした豊富な企画力で、

平均稼働率 90%以上をめざすショートステイの取り組み

事業所所在地：愛知県一宮市

法人名：社会福祉法人 たんぽぽ福祉会

事業所名：短期入所 たんぽぽ衾々の里

介護サービスの種類：短期入所生活介護

役職・職種：ショートステイ主任・介護

発表者：藤浪 義英（フジナミヨシヒデ）

【はじめに】

当施設は、特別養護老人ホーム併設型の2ユニット20床で、開設5年目の施設です。介護サービスが乱立する激戦区エリア（一宮市）で、どのように地域に貢献し、必要とされる施設づくりをするかということ。そして、存在価値ある施設で、安定した稼働率を確保するために、どのようにするべきかを常に考えてきました。開設当初は、ケアレスミスが頻繁で、日々のレクリエーションを考える余裕もなく、ご利用者がなかなか再利用に繋がらない不評の施設でした。そこで、何かオリジナルに特化したサービスを提供できないか試行錯誤し、いろいろなスタッフのアイデアをカタチにした結果、毎日何らかのイベントを行い、月に50以上の企画立案を実施、実践することでリピーターや稼働率が上昇した事例をここに発表します。

【企画立案・計画】

当法人の理念は「心ゆたかに」そして、個性豊かにをモットーとしてサービスを提供するために、どのように企画を実践することが、ご利用者同士、そしてスタッフもお互いに「笑顔で楽しく」過ごせることができるかを考えました。

常に介護が必要な方の短期間の受け入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練などのサービスを提供する基本的なショートステイ、家族都合で帰りたい気持ちを抱えたままのショートステイ。私たちは、ご利用希望者自身が、レクリエーションを目的として、ぜひ施設を利用したい、「楽しくなければ、ショートステイじゃない」。そして、「何度でも利用したい」「リピーターになりたい」と思えるようなショートステイ運営をスタッフも賛同し計画。実践しています。

3つの検討)

- ・毎日レクリエーション（地域最大回数のレク実施）をできるように、前向きに考えること。
- ・1泊2日のご利用者でも楽しんでお帰りいただけること。
- ・楽しいと思うものは、何でも企画立案し、できるだけ体験参加型の企画にすること。

5つの行動)

- ・ご利用者のニーズを掘り起こすこと。
- ・人気のお店、旅行ツアーやテーマパーク等の人気企画等を参考にし、時代や季節を反映した企画を実践すること。
- ・心くすぐる、キャッチフレーズやPRを作成、広く周知すること。
- ・毎日何かを企画し、ご利用者に楽しんでいただくこと。
- ・私たちのファンをつくること。

【実践、取り組み】

レクリエーションの種類)

基本は、ご利用者参加型とします。当施設では、介護スタッフ側の企画立案（少しひねりを入れた企画名も重要）が主流です。ただし、ご利用者の方の声を大切にし、日常会話の中からレクリエーションのヒントを得、できるだけご利用者の行きたい場所や（外出レク）食べたいもの（昼食レク・おやつレク）等リクエストに応えられるように、各スタッフが企画立案を行っています。



主なレクリエーションの取り組み)

レクリエーションの区分を「食べること」、「遊ぶこと」、「楽しむこと」に絞り込み、ご利用者参加型を基本とした取り組みを心がけています。

① 食レク・・・食べる

※人気のレクリエーション：餃子食べ放題。パンケーキ食べ放題等。

食事レクを通じて他の利用者方との交流を深めて頂くとともに、「今までできていたこと、行っていたこと」の行動を実践することで、機能維持や認知症予防になり、みんなで作って食べる楽しみを体感して頂いています。

- ・**企画立案書**：スタッフ誰でも情報共有できるように、できるだけ詳細に作成。
- ・**買い出し**：企画立案したスタッフが購入。または、外出レクにてスーパーへ行き、ご利用者の方と一緒に買い物をする。
- ・**事前準備**：ご利用者の方の能力に合わせて、包丁・はさみ・手で細かくして頂く等の個々の能力に合わせて実施。
- ・**調理方法**⇒ ホットプレートや、IH コンロを使用し、ご利用者の目の前で、できる限りご利用者の方にもご協力いただき調理し、盛り付けもできる限りご利用者の方に協力して頂く。

効果)

ご利用者の方にも一緒に体験することを軸にすることで、楽しみが増えること。そして、スタッフの負担も軽減し、より多くのレクを実施することが可能になりました。

② 外出レク・・・遊ぶ

ご利用者自身が、若い頃よく楽しんで出かけたように、気分転換や回想法も目的として定期的実施。食事レクと違い、多人数の外出企画では、当日のスタッフ対応が行き届かないため、少人数のスタッフ対応でできるよう、個別にご利用者の方が行きたい所に外出し、楽しむことができるように参加者も少人数で実施する企画立案を心がけています。

昨年は、当施設から片道 50 キロ以上の岡崎市までサーカス鑑賞に遠出したり、音楽のコンサート、カラオケボックス。または、ショッピングセンター、コンビニエンスストア巡りなど、地域と交流にも力を注いでいます。外出時にかかるお茶代や入場料等は、ご利用者の方に負担していただき精算。同行スタッフの費用は施設負担にて行っています。

③ 美容レク・・・楽しむ

美容レクとは、施設生活の中での「楽しみ」の一つとして、ネイル・アロママッサージ（手・足）足の岩盤浴（冬期のみ）化粧等を行っています。

④ その他

中庭を利用した季節のわかる園芸・農園作り、夏祭り・秋祭り・クリスマス会・敬老会・



花火・スイカ割り・ラジオ体操（毎日）・機能訓練士による機能訓練など、企画は、続々と増えています。

また、実施したレクリエーションは、施設ホームページ上のブログを作成し、実践報告とPRを兼ねています。

【まとめ】

当施設は、特にスタッフが多いということではありません。現在のレクリエーションの実施回数になるまでには、「人がいないから無理、できません」という声もたくさんありました。しかし、「なぜ無理なのか、なぜできないのか」という声を吸い上げ不安要素になるものをひとつひとつ取り除き、「どうすればできるようになるか」をスタッフが一丸となって話し合い、スタッフの得意とする分野の企画立案を作成するように「仕掛け」ました。そして、レクに対する「大変」と言う考えを、「楽しい」に変えていくことができ、いつの間にか豊富なレクリエーションを実施できるようになりました。

レクリエーションは、会話と一緒に、行う側が楽しくなければ、ご利用者の方も楽しくないと考えています。お互いが楽しいと会話も弾み、笑顔あふれる円滑なコミュニケーションがとれることができます。私たち専門職は、日頃からご利用者を尊重したケアを実践し、楽しい思い出づくりをたくさんすること。そして、企画を継続し、常に工夫した変化をすることが、次のご利用に繋がる大きなポイントではないかと考えています。

まだまだ、発展途上の施設ですが、工夫した結果、当施設の稼働率は、平均要介護度 3。平均稼働率 90%以上を維持しています。今後も更に進化し続けていきたいと思ひます。